



第 128号

令和7年 11月17日

鹿児島県文化協会

発行人 原口 泉
鹿児島市山下町 5-3
宝山ホール(県文化センター)2F
TEL・FAX 099-223-3123

HP



Email

kabunkyou@yahoo.co.jp
ka-bunkyou@po.minc.ne.jp

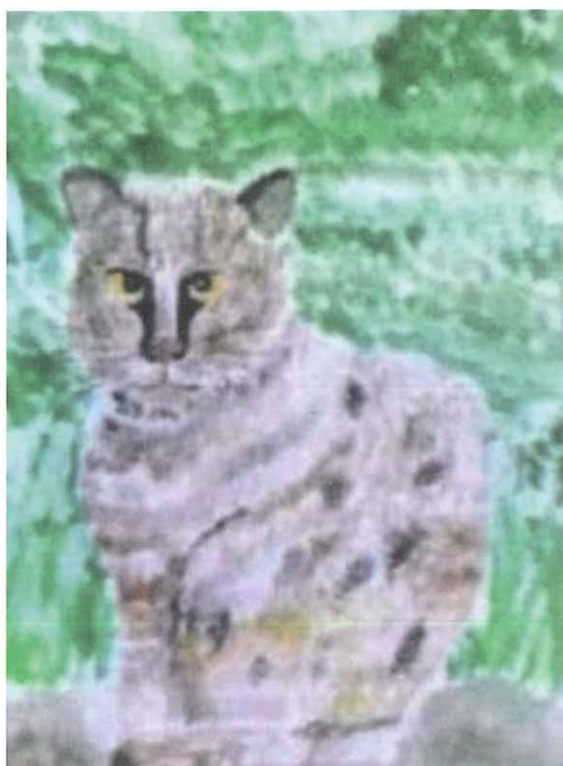
128号の特集記事

- 始良・伊佐地域の文化活動紹介
- 戦後80年企画「戦時下、そして戦後 文化と共に生きる」
- 子どもと文化「ベイビーシアター・どうなる部活動?..子どもと遊び」



▲ライオン

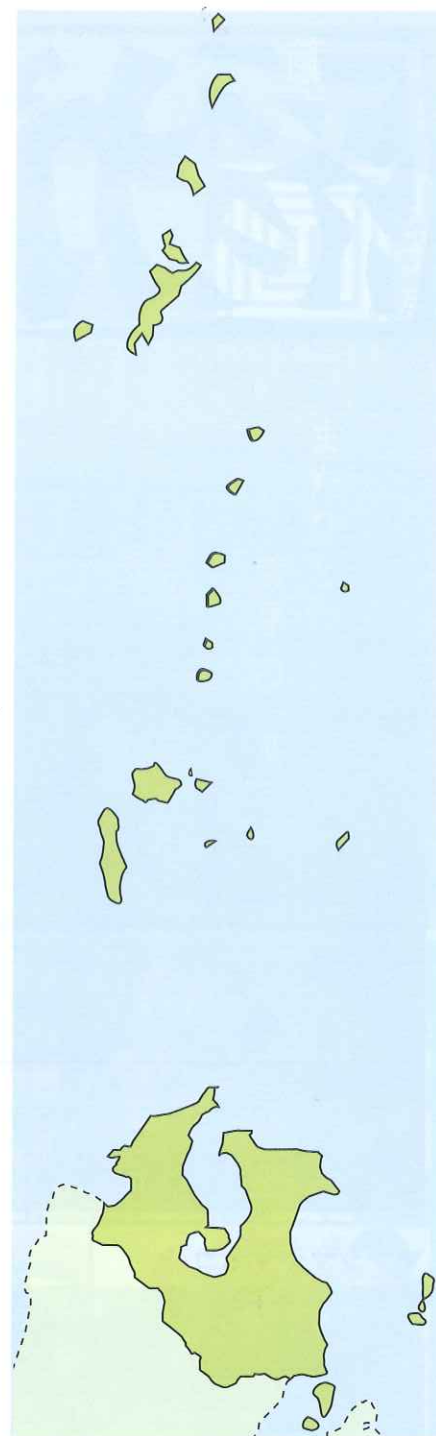
▼ツシマヤマネコ



作者:絵画教室 湧画会
(湧水町文化協会)
花堂 颯太 12才(小6)
(はなどう そうた)くん

目次

会長あいさつ	2
県民文化フェスタ i n かごしま 2024 展示部門	3
県民文化フェスタ i n おおすみ 2025	4
始良・伊佐地域の文化活動	5
霧島市・湧水町・伊佐市・始良市	
新規加入文化団体活動紹介	7
かごしま伝統楽器伝承会・白鳥バレエ・劇団上町クローズライン	
戦後 80 年企画「戦時下、そして戦後 文化と共に生きる」	9
伝統文化の保存継承	15
子どもと文化	
「ベイビーシアター」	17
「どうなる部活動？」	19
「子どもと遊び」	21
市町村文化協会・加盟文化団体・賛助会員	22



上園食品株式会社

住所: 鹿児島県霧島市隼人町眞孝字松山3344番地1



ますます充実 県民文化フェスタ

鹿児島県文化協会長 原口 泉

県文化協会の事業の柱である県民文化フェスタは、県内各地で活動している県民や文化芸術団体等が、主体的で多様な文化芸術活動の成果発表や交流で、地域文化の振興や文化交流の活性化を図ることを目的として毎年行われています。

昨年度の展示部門は令和7年2月27日(木)～3月2日(日)までカクイックス交流センターで開催されました。

展示内容は、「春の祈りと実りの秋」として大隅ブロック3市の美術作品、現代の作家の他に吉井淳二氏などの物故作家の作品の他、大隅・日置の祭り、伝統行事、風物詩など鹿児島島の伝統でありながら未来の宝物を広く紹介できたことは極めて有意義でありました。

今年度の地方開催は、展示部門に引き続き大隅ブロックが担当し、8月31日(日)にコミュニティセンター志布志市文化会館で「県民文化フェスタinおおすみ2025～伝統芸能と舞踊～」として開催しました。

オープニングでは志民コーラス、蓬原小学校の合同合唱で始まり、大隅各地の神舞や郷土芸能

などの伝統芸能が披露され、大隅地域の文化の創造をイメージする華やかなステージとなりました。

宝山ホールでの開催は、10月5日(日)に「県民文化フェスタinかごしま2025」表現する喜び」として開催しました。

オープニングは、鹿児島オペラ協会による歌劇「椿姫」より「乾杯の歌」などに始まり、錦城流大正琴、琉球舞踊「玉城流琉扇會」、日本舞踊萩乃会、かごしま伝統楽器伝承会、Juvavia Saxophone Ensemble「The Songbird of Gospel」、セルブあいらのキャンディビーツ、ウィンド・オーケストラ「フオレ」、昨年の県民文化フェスタ地方開催地から南九州市の下郡文化財青壮年団の神舞など県内を代表する皆様方の多種多彩で圧巻のステージは、観客を魅了しました。

本県の文化芸術振興に一石を投じ、地域文化の創造をイメージする県民文化フェスタ。益々華やいていくよう会員みなで取り組んでまいりましょう。

夢・快適・文化提案



次代につながるインフラを共に創り守る

大福コンサルタント株式会社

代表取締役社長 福田 真也

会社情報は
コチラから！

本社：鹿児島市東郡元町17番15号

TEL：099-251-7075 FAX：099-256-8534





カクイックス交流センター6階
ギャラリーにて4日間開催されました。県内の豊穡祈願のお祭りや生け花、絵画、書道、工芸、写真、木彫りなど多数展示されました。また、より一層展示を楽しんでいただけるように、展示ガイド集も作成しました。4日間で700人ほどの来場があり、賑わいました。

県民文化フェスタinかごしま2024展示部門 ～春の祈りと実りの秋～

2024年2月27日～3月2日



人づくり 街づくり 夢づくり



TOSAYA

株式会社 土佐屋

代表取締役社長 岡部 龍一郎

本社：鹿児島市宇宿二丁目9番11号

TEL 099-230-0010 FAX 099-230-0485

県民文化フェスタ in おおすみ 2025

2025年8月31日

8月31日(日)コミュニティーセンター志布志市文化会館にて県民文化フェスタが開催されました。出演団体は、おおすみブロックの11団体。志民コーラス・蓮原小学校、鹿屋吟詠会・剣舞一刀流、日本舞踊・三鐘流、末吉鬼神太鼓、南蛮FLAG、柏原相撲甚句保存会、岸良平田神社のナゴシドン、俵踊り保存会、照日神社神舞保存会、神舞保存会(錦江町)、たるみず神龍太鼓保存会です。出演者総数176名、観客710名、総数900名程の方にお越しいただきました。当日の感想と写真で報告いたします。

・伝統芸能あまり見ることはなかったですが、色々なところの芸能を観ることができて良かったです。これからも続けて観させてください。

・伝統芸能に興味があり来ました。期待以上でした。受け継いでいくこと大変ですよ。若者たちに、頑張れとエールを送ります。

・どの項目も次世代へつないでいく難しさや人口少子化の流れを感じつつも、こうして集い発表する機会をつくっていらつしやることを敬服いたします。素敵なひと時をありがとうございました。

・若い人たちの参加にとっても元気をもらいました。

多くの方々が、感動のメッセージを寄せてくださいました。演目について説明が欲しい。早く入場できるようにしてほしい。上演時間など意見も寄せられていましたので、検討して今後に生かしていきたいと思えます。



上原利洋税理士事務所



税理士
AFP (アフィリエイト ファイナンシャル プランナー)
上原 利洋
Uehara Toshihito

〒899-4346 鹿児島県霧島市国分府中町29-5
TEL: 0995-50-1605 FAX: 0995-71-0531
Mobile: 090-5930-6301
E-mail: t-uehara@ab.auone-net.jp



始良・伊佐地域の文化活動(霧島市・湧水町)

霧島市文化協会

霧島市文化協会会長 地蔵原 勇

霧島市文化協会は、7支部133団体、約1750会員とともに地域文化の振興と継承に取り組んでいます。芸術、芸能、文芸、伝統文化など多岐にわたる分野の活動を支え、市民の文化意識の向上に寄与しています。毎年9月から11月にかけて支部単位で舞台発表や展示また、地域の学校にも協力いただき吹奏楽部の出演等、地域に根差した特色ある「文化祭」を加えて年1回7支部合同の「芸術祭」を開催しています。昨年度より、当協会主催で霧島市民芸保存会(26団体)代表者及び公民館講座講師との意見交換会を実施し霧島市における多様な文化の継承と発展を図る活動を行っています。少子高齢化の進行や若年層の参加減少、物価高騰などの影響により文化活動の環境は一層厳しさを増しています。そのような中、霧島という歴史と自然に恵まれた土地の魅力を活かし、今後も地域に根ざした文化活動の発展に尽力してまいります。



湧水町文化協会

湧水町文化協会副会長(東中下場地区郷土芸能保存会会長) 平山 昭一

松尾城下の麓に伝わる「栗野磨欲(ときほし)踊」は、薩摩の戦国武将で島津家第17代当主の島津義弘公ゆかりの郷土芸能です。

松尾城在城中に文祿の役出陣の命を受けた義弘公は、1592年2月、正若宮(しょうわかみや)で御首途(おんかど)の儀(出陣式)を執り行った際、戦勝と生還を祈願するためこの踊りを舞わせたといわれています。その後、土(さむらい)踊りと言われるこの踊りは、義弘公の五男久四郎の7月4日の命日に踊り継がれたことから「四日踊り」とも言われ、戦前まで350年以上も受け継がれてきました。明治40年の10月には、鹿児島市の照国神社に

おいて、皇太子時代に来鹿された大正天皇の御前で披露された由緒ある踊りです。しかし、戦後刀を使った舞踊が禁止されたため、昭和20年3月を最後に途絶えてしまったものです。栗野磨欲踊復活実行委員会では、2019年の義弘公没後400年を迎えるにあたり、格



の高い「栗野磨欲踊」を後世に継承し、公の遺徳を語り継ぐためその復活に取り組んで参りました。踊りは、文献等をもとに復元し、松尾城の麓にあたる東中下場地区の皆さんが、約1ヶ月間毎日懸命に練習を重ね、71年ぶりの復活へとつながりました。

武芸は、ゆったりとした踊りのなかにも、さむらいの命である刀を磨くように、武人としての心と技もしつかり磨けと武人魂が込められたもので、その勇士が見事に再現されました。

これからも、この郷土芸能を継承していくため活動を続けていきたいと考えています。

始良・伊佐地域の文化活動(伊佐市・始良市)

伊佐市文化協会

伊佐市文化協会会長 平川 聖一

伊佐市文化協会は三六団体三〇〇人で活動しており、主催行事である伊佐市文化祭は毎年十一月三日に伊佐市文化会館で開催しています。

令和六年度は、舞台が三一団体、展示は五団体が発表をしました。舞台部門では、日本舞踊・和太鼓・三味線・民謡・コーラス・吹奏楽・レクダンス・フラメンコ・フラダンス等、展示部門では、絵画・生け花・書道・茶道など、幼児から九〇歳代の高齢者まで日頃の研鑽の成果を披露しました。会場には約九百人の市民が詰めかけ、伊佐の舞台芸術等を堪能していました。

発表機会を得た会員の活動意欲向上にも繋がり、文化芸術活動の活性化にも寄与しています。

高齢化等により会員数の減少が課題ですが、文化の灯を絶やさないように精進していきます。



始良市文化協会

始良市文化協会会長 吉川 成子

始良市文化協会は、加治木・蒲生・始良の3支部から成り、市役員会を通して連携しやすい組織づくりに努めています。

主な活動

- 一 3支部各々の文化祭開催
- 二 始良市文化芸術祭共催(市内幼・保・小中高校等、みやまお届け隊、私立少年少女合唱団、文化協会、始良地区文化交流団体)

三 文化協会だより(3月31日発行)

- 四 研修視察(県民文化フェスタ鑑賞を含む)

平成22年市制施行に合わせ、市総務課の依頼により、有識者と3支部文化協会長とで、「市民歌」の歌詞制作に携わりました。

歌詞の結びは、1番が輝け希望あたらしく、2番が育め生命たくましく、3番が彩れ文化かぐわしくです。昨今の子どもに向けた遊びや文化の提言が始良市民歌の中にも反映されていてうれしい限りです。今後も行政との連携の下、社会状況に合った文化活動の推進に努めてまいりたいと思います。



活動紹介

かごしま伝統楽器伝承会

かごしま伝統楽器伝承会では、鹿児島県内に伝わる伝統楽器（天吹・薩摩琵琶・ゴッタン）等の普及啓発活動を行い、演奏家と市民が演奏活動等を通じて、心豊かで活力ある社会の実現に寄与することを目的としています。

2024年に志学館大学歴史総合研究会の大学生とともに、鹿児島に残る伝統楽器「薩摩琵琶」「ゴッタン」などを、体験を通じて次世代の子どもたちに継承する機会を図るべく、体験イベント「昔ながらの文化にふれよう」を鹿児島市「時の旅喫茶室」で開催しました。

2025年8月には、ゴッタン成音会・歴史総合研究会との協働で、

アドバイザーに志学館大学教授・原口泉氏、長崎大学准教授・井手弘人氏を迎えし、「かごしま伝統楽器のうたげ」

（令和7年度文化の薫り高いかごしま形成事業（鹿児島県））を国分ハウジングシビックホールで開催いたしました。



イベント「昔ながらの文化にふれよう」



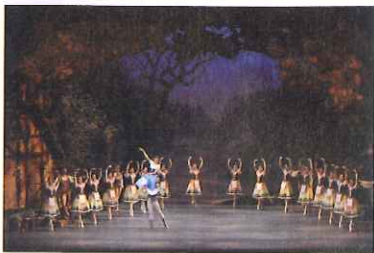
イベント「かごしま伝統楽器のうたげ」



かごしま伝統楽器伝承会会員・サポート会員

白鳥バレエ

1949年に創設、戦後間もない荒廃した鹿児島で、いち早くバレエ公演を行いました。1969年文化庁芸術祭に地方から初めての参加を果し、1973年再び参加しました。また、1990年には「平家物語」で参加し、日本の「白鳥の湖」と高く評価されました。これらの功績によりバレエ界の栄えある「橘秋子賞」を受賞しました。文化庁芸術祭への参加は4回となり、「西洋の美と日本の心の融合」を目指した日本のオリジナルグランドバレエを数多く制作し、レパートリーとして所有しています。特に「ヤマトタケル」、「邪馬台」、「平家物語」は、再演を重ね、好評を得ました。また、フランス、ロシア、ポーランド等よりゲストを招聘しての公演やジョイントコンサート、シンガポール芸術節の招聘公演やNHKバレエの夕べ、日本バレエ協会バレエフェスティバル、高野山開創1200年記念イベント「空海劇場」への出演等国内外で活動しています。本拠地鹿児島より広く発信を続け、1972年より青少年のための芸術鑑賞事業公演「バレエへの招待」等、地方文化振興のための活動も先駆的に取り組み、地域に根ざしたバレエ団として、本格的なバレエ作品の上演、普及活動を行っています。



受賞歴

- 1976年 全日本舞踊功績賞
- 1977年 第1回鹿児島県芸術文化奨励賞
- 1989年 MBC賞
- 1991年 橘秋子賞功労賞
- 1992年 南日本文化賞
- 2003年 地域文化功労者文部科学大臣表彰
- 2004年 鹿児島県民表彰
- 2008年 日本バレエ協会舞踊文化功労賞
かざん文化財団賞
- 2017年 鹿児島県芸術文化奨励賞
- 2018年 日本バレエ協会第1回指導者特別賞

活動紹介

劇団上町クローズライン

【演劇】の魅力をも、少しでも多くの鹿児島の方々に感じていただきたく、劇団上町クローズラインを2007年に立ちあげました。

鹿児島県のあらゆる文化芸術の中で、【演劇】というジャンルがハード・ソフト両面にまだまだ確立されておりません。

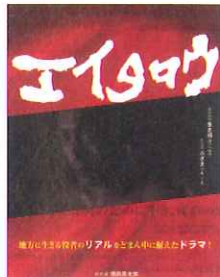
しかしながら希薄な現代のコミュニケーションツールとして【演劇】が令和の時代に脚光を浴びる中、観劇人口も演劇人口も増やすべく、作り手側のすることは、常に足を運んだお客様を魅了できる劇空間を発信し、継続していく事だと考えます。皆さま、鹿児島県にもいっぴい劇団があります！演劇公演もあります。劇場へぜひ足を運びください。

2025年度は、劇団上町クローズラインは、映画「エイタロウ」を応援しています。映画に出演した俳優は皆、鹿児島県在住無名演劇人です。鹿児島県上映は終了しましたが、上映は宮崎・大分・福岡と続きます。詳細はX（旧ツイッター）をご確認ください。

また、維新ふるさと館にて、映像シアターの昼の回を2コマいただきます、維新演劇シアターを開催。そのプロデュースをしています。

令和8・9年度は、西郷隆盛生誕200年・没後150年です。

【演劇】で盛り上げます。



上演スケジュール

◎西郷さん町田さんの「あかつきミュージアム」
【11/16(日)、12/21(日)、2026/1/1(木)】3回

〈上演時間〉

上演日の12:30~13:00 (30分間)

〈会場〉

維新ふるさと館 地下「維新体感ホール」

国際交流団体
鹿児島文化交流協議会
鹿児島県の素晴らしい文化・産業・観光を全国へ
継続して20年の実績を誇る

〒890-0053 鹿児島市中央町36番地5
TEL 099-254-1402 FAX 099-254-1438
会長 天達美代子



国際規格 CODEX/HACCP認証工場

徹底した衛生管理と品質管理で
お客様に安全で安心な食肉を提供いたします



株式会社 コワダヤ

〒897-0004 鹿児島県南さつま市加世田内山田80
TEL (0993)53-2661 FAX (0993)52-7255 URL www.kowadaya.co.jp



医療法人 左右会

SAYUKAI

理事長 橋口 渡

住所: 〒899-7103
志布志市志布志町志布志1丁目11番12号
TEL: 099-472-1521



株式会社 東条設計

- 街に緑を 建築に夢を -

インスタのフォローも
よろしくお願いします



@TOJO.SEKKEI

戦後80年企画
鼎談「戦時下、そして戦後
文化と共に生きる」



鹿児島市の奄美の里にて撮影

写真右より

原口泉 鹿児島市

鹿児島県文化協会会長。志学館大学教授。日本近世史・近代史を専門とする。NHK大河ドラマ「篤姫」「西郷どん」など数多くの時代考証を手掛ける。

吉峯睦子 南さつま市

1926（大正15年）年（現在100歳）、鹿児島市生まれ。

歌人 しきなみ短歌会などに所属。生家は米問屋として栄えた海江田家。高島屋開発元社長 故海江田順三郎氏の姉。加世田万世にある創業享和20年の（株）丁子屋に嫁入り。夫、吉峯幸一氏と経営されてこられた。

12歳から書き始めた日記を90年近く毎日書き続け、それを基に短歌、俳句などを作り続ける。万世特攻基地の地で今も平和への想いを胸に歌を詠む。

有馬万里代 鹿児島市

1928（昭和3）年、鹿児島市生まれ。音楽家、声楽家。

鹿児島大学名誉教授、鹿児島オペラ協会会長を长年務める。

鹿児島第二高等女学校時に田中義人（鹿児島師範学校教員）に弟子入り、東京音楽学校（後の東京藝術大学）卒業後は鹿児島師範学校などの教諭を経て、大学講師。イタリア留学や文部省在外研究員を経て鹿児島県音楽教育連盟会長となる。

鹿児島県芸術文化奨励賞、南日本文化賞、文部省地域文化功労者表彰、瑞宝中綬章。



『大島紬 工場見学・美術館 / 庭園見学 / アクティビティ』

鹿児島で出会う、もうひとつの奄美。

奄美の里

鹿児島市南栄 1-8-1
Tel:099-268-0331



おかげさまで34年



手軽に使える交通手段として地域に貢献します。

事業内容 貸切バス・タクシー・ペット霊園 など

有限会社 あいら交通

〒899-5421

鹿児島県姶良市東餅田1018-7

TEL 0995-66-2306

FAX 0995-66-5310

email-airakt@beach.ocn.ne.jp



原口 この度はわざわざお越しいただきありがとうございます。

吉峯 外に出るのはひさしぶりです。

有馬 あなた（吉峯）も来られると聞いたから来たのよ。

原口 戦後80年を記念した企画ということで、長年に渡り鹿児島県の文化活動に関わってこられたお二人にお話しを聞かせていただきたいと思いますので、宜しくお願いがいたします。ちなみに私たち三人は同じ高校の同窓生になりますね。

戦時中の生活

原口 音楽大学の生活はどのような感じだったのですか。

有馬 今の国立博物館のお庭が解放されていて、名も知らない小さい白い花がありました。当時、美味しくないご飯を寮の食堂で食べるより、博物館のお庭で花を観ながら食べたほうが少しはましだろうとみんなでピクニックをしていました。自由を奪われ、何も出来ない生活の中で、幸せな時間でした。いま考えると、戦争の中で、青春の楽しみ方を探していたのかもしれない。

たのかもしれない。

先輩の学生の中には既に有名になっていた方もいましたが、今のように正しい情報があるわけではなく、噂ばかり聞いていました。戦争中に知りたい情報も噂ばかり。伝統的な文化活動をしている方もいいましたが、全裸に足袋を履いた劇を表現する前衛的な活動をしている方もいました。奇抜なファッションで学校に来る方もいました。学校では洋楽専攻の人、必ずお琴や三味線を習わなければならなかったですね。

音楽学校の近くにある東京大学の音楽学や音楽学の先生の講義が面白かったです。面白かったので、今でも時々思い出します。国語や解剖学の先生も著名な方で講義は面白かった。例えば、ある65歳の方の声帯がまるで18歳のようにだというので先生が見に行かれたら、その方は15分練習したら30分休むことが良いということをやとずっと実行していたそうです。

音楽学の高齢の先生が関東大震災の話をしてくれました。まるで鉄道に乗っているような激しい揺れだったので、誰も立ってられない中、その先生は立ち続けることができた。理由は日本舞踊。腰を落として、膝を曲げることで立ち続けることができたと言うのです。

吹上温泉

- 駐車場 50 台以上完備
- 家族風呂・サウナ・露天風呂
- 貸切風呂、サウナ付別邸
- キャンプ場併設

営業時間：7:00～21:00（受付 20:30 まで）
鹿児島県日置市吹上町湯之浦2515
☎099-296-2005
Mail: info@fukuzuminoyu.jp

ふくずみの湯



FUKUZUMI no YU

営業時間：7:00 21:00（受付 20:30 まで）



さわやかな街づくりに奉仕する！ 鹿児島県南さつま市加世田村原3700番地1
有限会社 南薩東京社 TEL 0993-53-5100 FAX 0993-53-7179

女学校で、ご両親の見識の高い家の先輩が、能学の舞を学んでいたことが羨ましかったのですが、音楽学校に入り、その道を究めた先生方に出会うことが出来ました。

吉峯 印象に残っていることがあります。戦後すぐ、戦後改革で銀行閉鎖、農地改革など大きな変化がありました。明治生まれの両親などは、一言も「大変だ」とは言いませんでした。みんな耐えて乗り越えたから今の日本があると痛感します。

食べるものが無く、母が着物に米を換える生活になりました。川でエビをとったりもしていました。ある日、やっと思いでせっかく交換してもらった米が、月夜に映えてとても美しかったのです。あまりにも嬉しくてはしゃいでいたら、古いバケツが壊れて米が地面にこぼれてしまったのです。慌てて一粒も残らないように拾い集めて何回も洗って炊いたのですが、砂が混ざっていて食べられるものではなくたのです。そんな思い出は、たくさんあります。その頃は、いつも米を食べる前に虫が入っていないか注意して、弁当も哀れだった思い出があります。それまでは自宅の米問屋の倉庫には俵が積み重ねられて、かくれんぼをして遊べるくらいだったのに、まじめな祖父は管

理をしていた米を、ただの1俵も疎開先を持つていかせなかったですね。

二高女の同窓会の時、先生が「一兆円には0がいくつつきますか？一日100万円ずつ使えば、一兆円は何日分ありますか？」と宿題を出されました。その頃は計算機も何もないので一生懸命計算して答えを出し、新聞に「一兆円の重み」という題で広場欄に投稿したら大変な反響でした。毎日100万円使っても使い終わるのに何年もかかるのに、今は何百兆円の予算です。みんな一兆円の重みがわかってるのだろうかと思います。

有馬 戦争中でしたが、色々な話を聞いて、噂なんだと思っていました。兄が出征してフィリピンで戦死したことで、戦争では知っている人が死ぬんだと戦争を実感しました。

軍国少女

有馬 戦時中は、毎朝、お祈りをしていました。美味しくないカボチャを眺めながら父は「この戦争が早く終わりますように。人間が血で血を洗うようなことはしてはいけません。」と祈っていました。「この戦争はいつ終わるのかな」と言う近所のおばあさんに「日本は負けているのだ

引坂ピアノ教室

音楽で心を豊かに

小さなお子様から大人の方も、楽しむ気持ちを1番に♪
リトミック・ソルフェージュを含む幅広い音の楽しみを一緒に
憧れのあの曲・あの日の時の思い出の曲など、ご自分の宝庫を
ピアノで奏でてみませんか？幸せホルモン『セロトニン』の息使いで、
鍵盤ハーモニカもおすすです♪

体験レッスン募集中

お問い合わせ 引坂ピアノ教室・大人のケンハモ教室

引坂浩史・真奈美 SUZUKI ケンハモ認定講師・ケンハモ音楽呼吸法トレーナー

いちき串木野市 TEL 090-7532-4655



ご予約はコチラ

受付時間 9:00~18:00

050-5530-3179

鹿児島県いちき串木野市湊町1丁目101番地

から、日本が戦争を止めればこの戦争はすぐに終わる」と言っていました。学校でそんな教育を受けていない私は、父は非国民だと思いました。

東京大空襲と鹿児島大空襲をともに経験

有馬 昭和19年、東京の音楽学校で学んでいたのですが、翌年、東京大空襲がありました。その日は3月なのに雪が1尺ばかり積もる寒い日。深川の被災者の悲鳴が上野まで聞こえてきたことを覚えています。大空襲であちこち焼け野原となり、遺体が山積みになっていく状態、上野や寛永寺周辺も遺体だらけだから、外に出たらだめだと友人から言われました。

しばらくして、帰省することが出来ましたが、帰りの切符が買えないので、そのまま鹿児島に残ることにしました。そして6月17日の鹿児島大空襲の時、今度は、60km離れた串木野で鹿児島の被災者の悲鳴を聞いたのです。それは、遠い近いがあるだけで、3月に東京で聞いた悲鳴と同じでした。

原口 3月の東京大空襲と6月の鹿児島大空襲をどちらも体験しているんですね！

有馬 また、御徒町での空襲の時、片岡千恵蔵（俳優）の話聞いていました。突然空襲警報が鳴り、防空壕に逃げる暇もありませんでした。まるで地下鉄が頭の上を通っている様な音と振動でした。とても怖いのに、なぜか「いつ死ぬか分からないのだから、早く千恵蔵話の結末を知りたい」と思っていました。本当におかしな心理状態ですよ。

原口 戦時下ならではの今では信じられない感覚ですね。

書き続けた日記帳

吉峯 鹿児島第二高等女学校時代、学徒動員の報国隊として軍事企業で飛行機部品の図面を書く作業などをしました。1学年下の学生は卒業式も無かったです。英語も2年間だけ習っただけ、途中から英語が禁じられて日本語に変えられていきました。そのような中でも、心の鏡という日記帳があり、先生が赤字の筆で返し

てくれていました。空襲の夜も書いていました。女学校時代の5年間、毎日心の鏡を提出していました。が、戦災で全て焼けてしまいました。

その後の一冊を久しぶりに開いてみました。『昭和20年6月17日23時半、夜間大空襲。鹿児島市灰燼に帰す。青春の足跡を記した思い出の日記も全て灰と化し過去の日々も全く夢と同じ。今日よりまた気を新たに筆を運ばん。わが薩藩の先祖の血と汗を注ぎし築きし歴史の地、鹿児島も一夜にして変り果てたり。恨み骨髓に徹す。勝利あるのみ国無くして何の家ぞ。我が家を失い肉親を傷つかしめ、悲しみの底にあえぐ幾多の同胞。今こそ裸になって真の大和魂を発揮しやう（中略）手にしてびっくり。19歳の軍国乙女。過ぎ去りし日の私が脳裏に去来します。戦中戦後、現在までの日本の変化、九十五年間を振り返り、感無量です。』
 たくさんある日記を整理しないと孫たちが困るといいます。次男が生まれたときの日記もありました。「自宅で産婆さんと呼んで産みました。7000円、玉子三個、カルピス1本。」三男の日記もあり、「楽に産めてありがたい」と書いてあります。

日記は、その時のあり様が浮かび、心のあり様まで見えてきます。

誇れる薩摩、日本の文化

有馬 上野の西郷隆盛像は袴を履いていないですね。実際の西郷さんは破れていても着流しをしないで、袴を履いていたらしいです。それなのに銅像は着流し姿なのですが、それが逆に人々に愛されているのかもしれないですね。

原口 西洋人が幕府の使節団の立ち振る舞いの美しさを見て、決して野蛮人と思わなかったと伝えられています。日本人の立ち振る舞いは、海外の人にも感銘を与える日本の誇れる文化だと思います。

有馬 郷中教育は海外に広めるべきと、イギリスのロバート・ベーデン・パウエルという人が、ボーイスカウトとして取り上げたという話があります。鹿児島は郷中教育に誇りを持っていいと思うのです。西郷さんはその象徴です。

(ボーイスカウト薩摩・郷中起源説)

平和な未来を信じて

吉峯 小学校に戦争について講演に行ったりしています。ある時ひ孫から「短歌はどのように作ったらいのですか」と尋ねられたので「難しく考えずに感じたままでもいいのよ」と答えました。しばらくしてから新聞のひろば欄にひ孫のこんな短歌が載りました。

「あたりまえ 家族いること あそぶこと そうじゃないんだ戦争中は」ととても嬉しかったです。ほんとにそのとおりです。

原口 「私たちは子ども達から、この地球を借りている」というアメリカ先住民のことばに通じます。

沖縄の音楽家の方の印象的な言葉があります。「全ての武器を楽器にしましょう。そして、全ての基地を花園にしましょう。戦争よりもお祭りをしましょう。」今日は、お花の話もありましたが、「すべての人々の心に花を」

有馬 本当の意味の進歩ですね。

原口 今、子どもの権利条約について鹿児島はもっと理解を高めなければ

ばならないと思います。子どもが自分で遊んで学ぶことができない時代がありました。でも今の子ども達も自分で遊んで学ぶことができない。充分にやっているという人もいますが、息苦しさを感じている子ども達もいます。権利には義務があるという人もいますが、子どもには義務は関係ない。権利は生まれつきあるものです。子どもが生きていくために権利があるということを知ってほしいです。

有馬 私は、人間は、100%自由であるべきだと考えています。世界に何億という人がいて、動物や植物までいれたら、一人一人の自由はほんとに小さい。だから、みんな自分の好きなことを続けていけば人間としても成長できる。イタリア人は、生まれ持った自分をそのまま磨きまします。だから世界に一つだけの自分の声を大事に育てます。イタリア人は、話す声と歌う声は同じなのに、日本人は別々にしてしまう。足し算をしないといけないのに引き算をしたら正しい答えは出ません。イタリアも日本も地震大国ですが、被災者だけが苦労してはならないという文化が

イタリアにはあります。イタリア人は考え方が自由なので。日本人も自由な気持ちで日本の持つ素晴らしさを一人一人がもっと自由に選択できる、誇りに思えるようになれば良いと思います。

吉峯 私の丁子屋の石蔵カフェに月に一度みなさんが集まるのが楽しみです。いろいろな方とお話することもできます。戦争や災害のことが多いですが、音楽と花の話は癒されます。石蔵に来られる外国人の方も、石蔵の音響を褒めていただきます。私は、お礼の気持ちを歌で伝えるようにしています。

- ・ 美しき美聲に酔いて石蔵に拍手の中に我も若やぐ
- ・ 尺八とピアノの音色が心地よく平和日本の幸せ思ふ
- ・ 尺八の音色石蔵に吸われゆき夢心地なり美声に酔いて
- ・ 尺八とギターのしらべ夢心地老いを忘れて心安らぐ
- ・ 音楽に敵味方なしなつかしき思い出の歌手調子取りて
- ・ 強弱のしらべに酔える石蔵に平和を祈る戦争はため

戦争、自然災害、事件事故の不安な世の中、美しい花や音楽、素晴らしい本に何とか元気をもらっています。

原口 お二人からたくさんメッセージを頂きました。誇りある自立した生き方から学ぶことがたくさんありました。それを文化かごしまを通してお伝えしたいと思います。今の子ども達や若い人達が、例えば映画「国宝」を観に映画館に足を運んでいます。日本人が持っていた素晴らしい生き方と立ち振る舞い、宗教の垣根を超えた信心の大切さを、かえって若い人の方が感じられるかもしれない、そんな対談になりました。貴重なお話をありがとうございます。

(広報部 山口貴久)

有山内科

〒898-0054

鹿児島県枕崎市鹿籠麓町33番地

TEL : 0993-72-5811

FAX : 0993-72-5839

澤歯科医院



診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
9:00~13:00	●	●	●	/	●	●	/
14:30~18:30	●	●	●	/	●	/	/

〒899-6603

鹿児島県霧島市牧園町

高千穂3914-58

澤ビル1階

TEL.0995-78-8288

子どもは育つ



いつでも
会員募集中!



2026年
12月20日 宝山ホール
12月23日 徳之島町

文化芸術で

伝承活動に活かされました

南さつま市坊津町久志郷土芸能保存委員会



が戻りつつありますが、村の誇りであり地域の活力の源である太鼓踊りを継承しようと、祭りの期間だけ都会にいる関係者に帰ってきて踊ってもらうなど、懸命に活動が続けています。

今回は、その誘い水として鉦とか装束などの購入に活用させていただきました。

今回の助成は、大変ありがとうございました。我がふるさと「久志」の元気につながりました。

久志郷土芸能保存委員会

会長 尾場瀬

私ども久志太鼓踊り保存会では、令和六年度伝統文化の保存・継承に係る助成事業により、お陰様で助成金十万円をいただくことができました。南さつま市坊津町久志地区は、薩摩半島南西部のリアス式海岸の浦の一つで、人口三百人ほどの小さな漁村であります。少子高齢化が進み、子どもの数が年々減少しています。

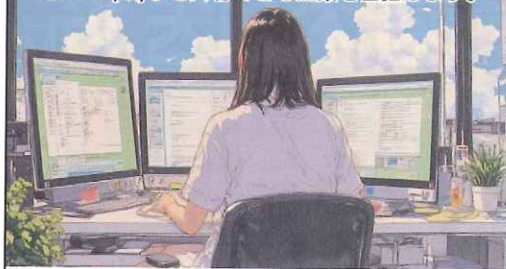
ただ近年では地域おこし協力隊やインターンなど少しずつ活気

伝統文化の保存・継承に係る助成事業は鹿児島県内の郷土芸能や伝統行事など伝統文化のうち、消滅のおそれのある団体及び担い手の育成・確保に取り組み団体に対し助成を行うものです。来年度の助成事業は十二月一日に各市町村長、各市町村文化協会長へご案内いたします。

地元で輝き、喜(歓)び合える企業

私たちはITを通して

“社員”と一緒に、“お客様”と一緒に、“家族”と一緒に、“そして”地域の皆様”と一緒に喜(歓)びを共有できる企業を目指します。



株式会社 ソフトウェア開発技術
Software Development Technologies Co., Ltd.

〒890-0053

鹿児島県鹿児島市中央町9-1 鹿児島第一生命ビルディング8階



099-210-7833



info@soft-dt.com



文化協会の活動を応援しています

鹿児島の魅力を再発見する取り組みです。その踊り手の方々は、地域の伝統芸能継承の難しさを象徴するかのよう高齢の方も多くおられました。

『お怪我のないように』と念じつつもその懸命に演じておられる姿には我がふるさとを愛しふるさとの誇りを気高く伝えたいとの思いがひしひしと伝わってきました。鹿児島県内約1,000種類ともいわれる伝統芸能の宝庫「鹿児島」で誇り高く継承されている皆さんに晴れやかに舞っていただく機会を多く持てればと感じることでした。

(副会長 川野 秀哉)





久志太鼓踊り(南さつま市)



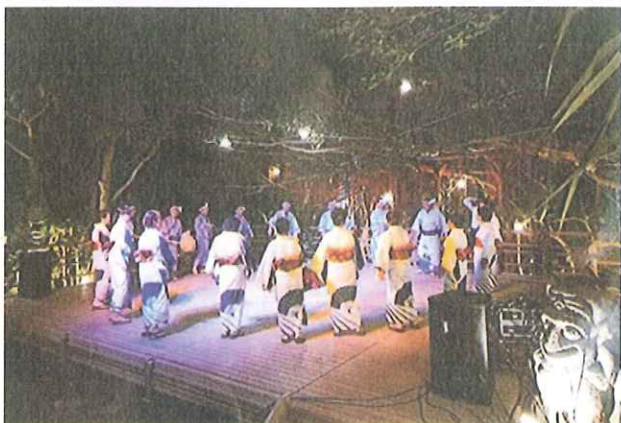
下久徳太鼓踊り(始良市)



朝陽太鼓踊り(薩摩川内市)



兵児踊(西之表市)



大柵八月踊り(大和村)



エイサー(与論町)

郷土の伝統行事や伝統文化の保存継承を



二之宮加紫久利神社神楽舞(出水市)

令和六年度の事業に取り組まれた団体

コラム 「鹿児島県の魅力再発見」

鹿児島県青年会館・艸舎事業

先日、県青年会館艸舎で「鹿児島の郷土芸能ふるさとの祭」が開催されました。

鹿児島神社神舞に始まり、さつま町中津川の金吾様踊りの六尺棒踊り・手踊りと鹿児島市小山田の太鼓踊りが披露されました。



子どもと
文化

ベイベーシアターって？

新しい時代の扉を開くあかちゃんのための舞台！

ベイベーシアターは、まだほとんど知られていない生まれたばかりの小さい子どものための新しい芸術です。ヨーロッパで80年代に始まったこのムーブメントは、いまや世界中に広がり、日本でも21世紀を前後として各地に広がりをみせています。単に芸術家が赤ちゃんのために演劇や音楽やパフォーマンスを提供するのみでなく、世界の科学者や教育者など研究者と共に赤ちゃんの未知の世界を学びながら、表現活動を行っています。

親子が安心して心を通わせ、わが子がいとおしいと思える幸せな時間と空間を共に体験する場であり、また、赤ちゃんのすべての感覚器官を育て、人と関わりあう楽しさの原体験となる新しい芸術です。そして、赤ちゃんのもつ集中力や、観る、聴く力を親たちが発見する場でもあります。

今日、世界はAI社会に突入しています。ヒト科のヒトが人間になれるかどうかの時代でもあると、危機感を募らせている研究者もいます。かつて日本では、地域の様々な祭りや行事、豊かな人間関係のなかで子ども達の原風景が生み出されていました。「三つ子の魂100まで」という諺があるように、これらは子ども達の文化の源となり心を育ててきました。地域の伝統芸能が次々と途絶え人間関係も希薄になる現代で、ベイベーシアターは、生まれてくる赤ちゃん一人一人の新しい文化環境づくりとしても注目されています。

2025年7月11日(金)

劇団風の子九州によるベイベーシアター2作品が川商ホール市民ホールで上演されました。(8ヶ月から14ヶ月までの親子のための作品と0・1・2歳の親子のための作品) 役者と赤ちゃん、赤ちゃんとお母さん、赤ちゃんとお母さん。作品を通して、多くの交流が生まれる美しく愛らしい舞台を観てきました。社会のICT化が進み、芸術体験も生だけでなく、映像体験で出来るようになっていますが、生の体験こそ赤ちゃんの成長発達を促します。「すべての子ども達にこのアート体験が広がりますように」昨今のベイベーシアターの状況と一緒にご報告します。

(広報部 深瀬 好子)

\ 乳幼児に演劇が必要な理由 /

乳幼児にとって演劇とは、面白く興味深い観察体験です。日常生活では、このような観察を集中できる体験はほとんど起きません。小さな家の中でお母さん一人に反応する乳幼児の活動と表現は、乏しくならざるを得ないのです。けれども何人かの役者と、音楽、小道具、舞台装置などが登場する演劇を“観るという体験”は違います。(中略) このような体験は、公演後、家に帰ってからのお母さんと赤ちゃんの遊びにまで影響を及ぼします。お母さんと一緒に“観察した共同の体験”だからです。

ジャッキーE・チャン

神経心理学者・特別児童専門ドラマセラピスト・演出家・俳優

ベイベーシアターは、40分ほどの上演時間で、12組とか40組
商業ベースでできるものではありません

「赤ちゃん和創りあう」

赤ちゃん同士の反応もベビーシアターの一部♡

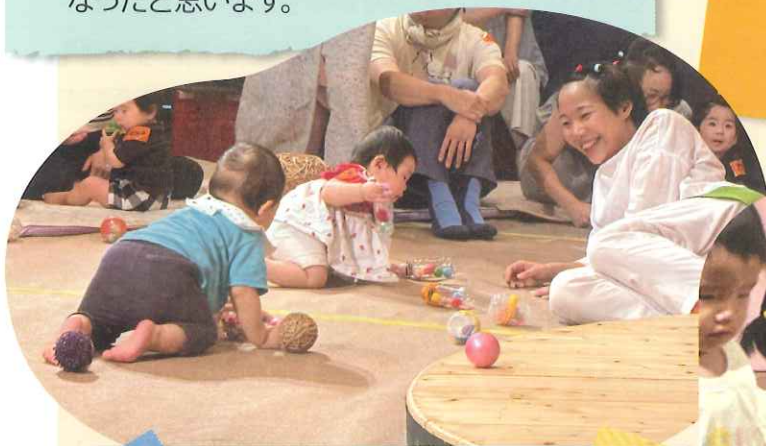
ハイハイごろ〜ん感想より

8ヶ月〜14ヶ月

- 子どもが自由に動けるのであたたかい雰囲気の中で楽しく癒されました。
- いろんな動きや音があり、面白かったです。同じくらいの年齢の子と触れ合うとても良い機会になりました。娘にとっても良い刺激になったと思います。



感じあう瞬間が楽しい!!「ようこそここへ」と祝うようなイメージで観客と創りあっています。



子どもの「観る」は、2歳と3歳では全く違います。ベビーシアターは、赤ちゃんと一緒に空間づくり。赤ちゃんを邪魔せず、なじみながら表現するようにしています。お客様が表現者です。

(劇団より)

ピーカブー感想より

0歳〜2歳

- 日常の生活では体験できないことなのでとても楽しかったです。
- ピーカブー! 耳に残る優しい歌声と不思議な世界感にすっかり魅了されました。
- 子どもの五感を刺激するような工夫もされていて大人も楽しかったです。



子どもと文化 どのような部活動？

鹿児島県文化協会では、令和7年度運営方針に「若い世代などへ文化を繋いでいく活動にとりくんでいきます」と掲げています。その中で、部活動の地域展開（地域移行から変更）についても触れています。今後具体的にすすんでいくと考えられることから、加盟団体でも、意見交換会などを活用し協議していくことなどを提案しました。

そこで、鹿児島県全体の動向を鹿児島県教育庁義務教育課企画調査係に伺いました。



「なぜ、部活動の地域展開なのか？」

国としては、「改革推進期間」（令和5年度～令和7年度）を定め、地方公共団体における計画的な取り組みを促しており、令和7年5月16日付で「地域スポーツ・文化芸術創造と部活動改革に関する実行会議」の最終とりまとめを発表しています。その資料によると、

改革の理念及び基本的な考え方等

- 急激な少子化が進む中でも、将来にわたって生徒が継続的にスポーツ・文化芸術活動に親しむ機会を確保・充実していくのが改革の主目的。その上で、改革を実現するための手法を考える際には、学校における働き方改革の推進を図ることや適切な資質・能力を備えた指導者による良質な指導等を実現することについても考慮することが必要。
- 学校単位で部活動として行われてきたスポーツ・文化芸術活動を、地域全体で関係者が連携して支え、生徒の豊かで幅広い活動機会を保障することが重要。
- 地域クラブ活動においては、学校部活動が担ってきた教育的意義を継承・発展させつつ、新たな価値を創出することが重要。

改革期間

- ・令和5年度から7年度：改革推進期間
- ・令和8年度から令和10年度：改革実行期間（前期）
＊現時点で着手していない地方公共団体においても、前期の間に休日の地域展開等に着手
- ・中間評価
- ・令和11年度から令和13年度：改革実行期間（後期）

とあります。

鹿児島県としては、国の方針に基づき、各自治体への説明を行っています。

吹奏楽部連盟の永井哲先生にお話を聞きました。

今年のコンクールには、地域展開での吹奏楽部出場はありませんでしたが、今後は地域バンドや合同バンドが増えていくと思いますということでした。今後に向けての課題については、

- ①練習場所の確保（学校の場合、開錠や施錠の問題）
- ②練習場所までの楽器や生徒の輸送
- ③指導者の確保
- ④これらに伴う経費

という事でした。

この課題は、国の最終とりまとめでも挙げられています。

鹿児島市の文化部活動の地域展開に向けた取組を鹿児島市教育委員会学校教育課に聞きました。**鹿児島市教育委員会学校教育課**

鹿児島市におきましては、休日の文化部活動の地域展開に向け、令和5年度から学校等でのモデル事業を行い、各学校の実態等に応じた段階的な取組を進めています。

本市の生徒が、文化芸術活動に継続的に親しむ機会を確保・充実していくために、今後は、学校を含めた地域全体で活動を支えることが重要とされ、文化団体等の皆様の御理解と御協力は不可欠のものと考えております。

令和7年度、本市では、校区単位で活動を行う①「中学校区文化クラブ」、②拠点校を中心に、近隣の協力校と合同で活動する「地区文化クラブ」、③全市立中学生徒を対象に活動する「合同文化クラブ」の3パターンでモデル事業を実施しており、今後は、得られた成果や課題を基に、関係団体等と連携・協力し、よりよい部活動地域展開が実現できるよう、在り方の検討等を進めてまいります。

また現在、指導者の確保に向けた「人材バンク」の設立に向けて検討を進めております。今後、関係団体等を通じた周知を考えているところです。その際は、趣旨等を御確認いただき、ぜひ御応募いただけますと幸甚に存じます。

文化部活動地域展開について、鹿児島市芸術文化協会にも聞きました。**鹿児島市芸術文化協会事務局長 有村 航平さん**

(鹿児島市学校部活動地域連携等推進協議会委員)

これまでの中学校の文化部活動は、子どもたちが文化芸術に身近に親しむ機会を創出し、豊かな人間性の涵養や創造力・感性の育成につながるものとなっています。多くの子どもたちが部活動での経験をもとに、その後も継続的に文化芸術に触れたり、さらに発展的な文化活動を行ったりしています。今後も、子どもたちの文化芸術活動が望ましい形で持続されることが一層望まれています。

部活動に代わる地域クラブ活動においても、子どもたちの誰もが等しく文化芸術活動に触れ親しみ、そして未来の鹿児島の文化芸術を創造していくものであるべきです。各地域や多様な人材の特色を活かした、新たな文化芸術活動の場・機会となるよう、関係者が協力して実現に向けた取組を推進していければと思います。

**子どもをまんやかに、文化芸術への体験が豊かになりますように**

部活動は子ども達の楽しみであり、学校の先生が授業では見せない子ども達の姿がみれたり、先生と子ども達の交流の場だったような気がします。部活動の地域展開を始めるにあたり、その意義として、「学校部活動が担ってきた教育的意義を継承・発展させつつ」とあるように、地域で受け入れる文化芸術団体も子ども達と関わる時の学びが必要だろうと思いました。しかし、地域の中で、今まで以上に深く活動ができたり、そのような方々と子ども達が知り合えるのは、子ども達の成長にとってプラスになると思われます。費用のことも、他にもまだまだ様々な課題があります。子どもの声、先生の声も聴いてみたいと思いました。新しく行われる部活動の地域展開が、育ちゆく子ども達をまんやかににおいて、プラスに動くように私たち文化団体も関心を持ち、学習や交流を進めていく必要を改めて思いました。

(広報部 深瀬 好子)



子どもと文化

子どもと遊び

山本清洋 (NPO法人日本子どもと伝承遊び学会) 会長

江戸時代の浮世絵に子どもの遊ぶ姿が280を超えて描かれ、1901年の調査では184種目の伝承遊びが紹介されています。現代では、1995年に鹿児島島の伝承遊び約150種目、2004年には、保育園で良く遊ばれている伝承遊びとして61種が紹介されています。江戸以来、伝承遊びが急激に減少し、1980年半ばから、伝承遊びは子どもの世界から急激に減少していることが分かります。今日では、学校での地域のお年寄りによる1年に1～2回程度の昔遊びの体験行事や保育園で保育の一環として実施されているのが主で、子どもの日常生活では、伝承遊びは、息も絶え絶えに生きているというのが現状です。減少の責任は子どもには一切責任はなく、すべて、伝承遊びを減らす環境を作った大人社会にあります。

さて、伝承遊びとはどんな遊びでしょう。ここでは、伝承遊びとは、子どもの遊び集団のなかで自然発生的に、また、大人社会の模倣により、代々共有されてきた遊びであり、子ども社会の縦横の繋がりによって受け継がれてきた遊びの総体であるとしします。＜子どもの遊び集団＞、＜その社会の重要な縦横に繋がり＞、＜長年継承された活動＞という要因から、伝承遊びは、子ども自身の遊び文化とみてよいでしょう。

伝承遊びの内容は、①言語表現の文化（子守唄、わらべ歌、替え歌など）、②身体表現の文化（運動遊び、手わざの遊び、ごっこ遊びなど）、③事物表現の遊び（道具の遊び、手作りの遊び、生き物や自然を素材とする遊び）で構成されます。

伝承遊びが、子ども自身による文化であることは、子どもが生きるうえで欠くことのできない、大人の考えが織り込む余地のないことを意味します。子どもの遊びは、「子どもの権利条約第31条」にも子どもの権利として条文化されています。

前述した伝承遊びの3つの領域を子どもが体験することで、＜自然への眼＞＜科学への眼＞＜人への眼＞＜創作への眼＞が養われてゆきます。

以上の考えに基づき、約20年の歴史をもつNPO法人日本子どもと伝承遊び学会は、伝承遊びの研究と伝承遊びの普及・発展を目標とし、「遊びの支援・指導者養成講座」を毎年開催しています。



いちき串木野市文化協会

文化の薫るまち いちき串木野

文化祭 11月2日 芸能発表 11月11日～13日 展示発表

自主文化事業8月 戦後80年記念戦争記録展

9月～3月 各種団体展示発表

10月18日 和楽器コンサート（武家屋敷庭園）

12月20日 クリスマスコンサート（ミュージアム“カフェ舟”）

2月15日 第12回いちき串木野市音楽のつどい“届け！平和への想いコンサート”

いちき串木野市文化協会 会長 川原純子



加盟団体・賛助会員の紹介

市町村文化協会

ブロック	団体名	代表者
鹿児島	1 鹿児島市芸術文化協会	池川 直
	2 吉田地域文化協会	八木 まゆみ
	3 郡山地域文化協会	加治木 教允
	4 三島村文化協会	室之園 晃徳
	5 十島村文化協会	安藤 巧
	6 いちき串木野市文化協会	川原 純子
	7 東市来地域文化協会	石川 みどり
	8 伊集院地域文化協会	犬童 順子
	9 日吉地域文化協会	竹下 文夫
	10 吹上地域文化協会	梶 学
南薩	11 指宿市文化協会	山口 貴久
	12 南九州市文化協会	宮原 俊郎
	13 枕崎市文化協会	天達 章吾
	14 南さつま市加世田文化協会	川野 秀哉
	15 南さつま市笠沙文化協会	久保 恵美
	16 南さつま市坊津文化協会	奥村 拓郎
	17 南さつま市金峰文化協会	古城 幸枝
北薩	18 薩摩川内市文化協会	瀬尾 和敬
	19 さつま町文化協会	川内 優子
	20 阿久根市文化協会	渡辺 豊治
	21 出水市文化協会	鶴田 均
	22 長島町文化協会	入口 守

ブロック	団体名	代表者
始良伊佐	23 伊佐市文化協会	平川 聖一
	24 霧島市文化協会	地蔵原 勇
	25 始良市文化協会	吉川 成子
	26 湧水町文化協会	岡村 民子
	27 曾於市末吉文化協会	勝目 興郎
	28 志布志市文化協会	野村 広志
	29 大崎町文化協会	山下 修三
	30 垂水市文化協会	小田原 雅江
	31 鹿屋市文化協会	濱田 寛子
	32 鹿屋市輝北町文化協会	米重 利美
大隅	33 鹿屋市吾平町文化協会	川崎 重治
	34 鹿屋市串良町文化協会	河野 良幸
	35 東串良町文化協会	中村 義信
	36 肝付町文化協会	大野 重敏
	37 錦江町文化協会	河野 洋子
	38 南大隅町文化協会	岩下 昭二
	39 西之表市文化協会	上妻 敏男
熊毛	40 中種子町文化協会	徳永 眞一
	41 南種子町文化協会	丸塚 直子
	42 屋久島町文化協会	野口 真由美

ブロック	団体名	代表者
大島	43 奄美市文化協会	境 賢勇
	44 大和村文化協会	中山 昭二
	45 宇検村文化協会	松井 富彦
	46 瀬戸内町文化協会	城山 洋子
	47 龍郷町文化協会	久保 笙子
	48 喜界町文化協会	外内 千里
	49 徳之島町文化協会	向井 久貴
	50 天城町文化協会	中島 清彦
	51 伊仙町文化協会	福清 千美子
	52 和泊町文化協会	山下 幸秀
	53 知名町文化協会	大山 優
	54 与論町文化協会	和田 きみ子

令和7年6月10日現在

加盟文化団体

分野	団体名	代表者
音楽	1 公益社団法人鹿児島交響楽団	中村 耕治
	2 鹿児島オペラ協会	宮原 真紀
	3 鹿児島県吹奏楽連盟	永井 哲
	4 鹿児島県合唱連盟	盛山 春樹
	5 鹿児島県おかあさんコーラス連盟	上村久美子
	6 生田流箏曲総音乃会	藤本 瞳
	7 鹿児島県尺八連盟	福田 井山
	8 錦翔流大正琴	三窪 良子
	9 ゴッタン成音会	永山 成子
	10 The Song bird of Gospel	田島 良一
	11 Kagoshima カンツォーネ協会	三島 史恵
	12 鹿児島筑紫会	救仁郷歌薫
	13 生田流箏曲彌生会	西園真理子
	14 かがしま伝統楽器伝承会	原口 泉

分野	団体名	代表者
美術	15 鹿児島県書道会	瀬筒 寛之
	16 鹿児島県美術協会	祝迫 正豊
	17 岡田茂吉美術文化財団鹿児島支部	佐々木 網智
文芸	18 鹿児島県詩人協会	高岡 修
	19 鹿児島県歌人協会	鶴田 直樹
	20 鹿児島県俳人協会	淵脇 護
	21 天秤宮社(詩とエッセー)	宮内 洋子
	22 かがしま文芸研	北山 文代
	23 鹿児島市民劇場	田中 春美
舞踊演劇	24 鹿児島県子ども劇場協議会	深瀬 好子
	25 鹿児島謡曲連合会	森岡 和之
	26 劇団「夢飛行プロジェクト」	立棒 雅也
	27 鹿児島文化交流協議会	天達 美代子
	28 郷土芸能中之町鉦踊り保存会	仙田 容舞
	29 白鳥バレエ	白鳥五十鈴
	30 劇団上町クローズライン	宇都大作

分野	団体名	代表者
生活文化	31 鹿児島県連合華道会	黒江 道子
	32 (一社)表千家同門会鹿児島県支部	中村 博之
	33 (一社)茶道裏千家淡交会鹿児島支部	島津 忠裕
	34 前結び宗家さの和装学苑	木野 博道
	35 (一社)詩吟朗詠錦城会鹿児島本部	本村 錦香
文化研究	36 かがしま探検の会	東川隆太郎
	37 萌桜会	北郷 萌祥

令和7年10月14日現在

令和7年度
賛助会員

令和7年11月4日現在

奥田 順子	青野 のぞみ	藤田 はつほ	山元 黎子	本村 ヒロ子
古市 裕美	伊波 サチエ	日高 千代子	引坂 真奈美	横山 恭子
有馬 広文	小田 心一	園田 満代	西山 めぐみ	佐々木 由貴美
坂口 八寿代	田代 直樹	田代 昌弘	田原 キヨ	宮原 真由美
石原 恵子	山元 恵	大谷 美穂	川口 勝則	川原 宗司

県の文化活動の発展のために、ぜひご支援を賜りますようお願いいたします



またひとつ
薩摩の「黒」

本店

〒897-1121
鹿児島県南さつま市
加世田唐仁原6032
TEL 0993-53-2711(代)

鹿児島店

〒892-0834
鹿児島県鹿児島市
南林寺町5-12
TEL 099-226-8686(代)

商品紹介

弊社の商品は、1本1本手作業にて作っております。醤油製品だけでなく『鹿児島県特産品協会理事長賞』を頂いた「つゆ」、弊社人気 No.1 の「なごみ酢」などがオススメです。

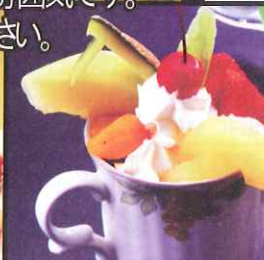
お取り寄せ出来ます

詳しくは各店舗までお問い合わせ下さい。

[URL] <https://chojiya.com> [E-mail] info@chojiya.com



お年寄りからお子様までみんなで
楽しめるメニューと雰囲気です。
ぜひ一度お試しください。



定休日 月・木・土 南さつま市役所となり ☎ (0993) 52-2856 ファミリーレストラン **ブルマツビルドッグ**



創業176年
お菓子の小田屋

創業 二年 嘉永
Since 1849

本店

南さつま市加世田村原2-18-7
フリーダイヤル 0120-355-156
<http://www.odaya.jp>



加世田本店